

ネパール地震後の経過報告と、さらなる祈りとご支援のお願い ～第一次ネパール地震支援募金（第2信）～

主のみ名を賛美いたします。

4月25日にネパールで起こった地震以降のお祈りと献金をありがとうございます。

ネパールでは頻繁な余震が続いている中、5月2日にマグニチュード7.3の余震が発生して被害が拡大しました。5月10日現在で死者は8019名、負傷者は1万8千名近くにのぼり、人口の4分の1以上が被災しています。すでに日本では報道が途絶えています。雨季に入っていく今、二次災害も心配されています。

日本バプテスト連盟は世界バプテスト連盟救援機関(BWAid)、アジア太平洋バプテスト連合救援機関(APBAid)に加盟しており、発災以来情報が寄せられてきました。13日にAPBAidの報告が届き、ネパールバプテスト教会協議会(NBCC)を通しての支援方策が定まったとのことです。内容をお知らせします。

ネパールにはネパールバプテスト教会協議会(NBCC)があります(167教会 250伝道所、信徒数17000人、聖書学校1校)。今回の地震で多くの会堂が倒壊し信徒が亡くなりました。

カビ主事とネパールに関係の深いインド北東部の教会リーダー達が、5月4～9日までネパールに赴き被災地域と教会を訪問し今後の支援について協議をしました。NBCCは平常から「多目的共同体構築支援機構 Multipurpose Community Development Service(MCDS)」部署を持っています。4日に到着したとき、すでにマレーシアや台湾からの支援団体がMCDSに協力して、教会を支援し、教会を通しての地域支援にあたっていました。APBAidチームはそれぞれ分かれて、カトマンズを始め周辺地域、被災した近隣の地域に行きました。多くの方々は外でテントを張り、被災生活を送っています。

今回の訪問では、NBCCの指導者と共に協議会を開き、今後3年間の支援要請にあたって三つの柱が決められました。①半年後からMCDSの共同体構築のプログラムをラリプールなど4地域に絞って行う、②三つの分野に焦点を絞る一地域支援(メンタルケア、教育、保健など)、生活環境回復支援、インフラ再建(住宅、学校、教会、水資源など)、③今後の支援に関し相談者を立てていく。

この時、東日本大震災の時にAPBAidのコーディネートで行われた円卓会議(各国に今後の支援を呼びかける)と同じものが企画され、5月19～22日にカトマンズで開催されました。

ネパール地震被災の回復には長い時間が必要と思われる。引き続きお祈りください。



▲倒壊したダーシャム教会。20名が亡くなった



▲100世帯分の支援物資を会堂で仕分け中

- 送金先 郵便振替※同封の振込用紙、または連盟協力伝道献金の振込用紙をご利用ください
加入者 宗教学人日本バプテスト連盟総務部
00140-9-180881
※必ず通信欄に「ネパール地震」と明記して下さい。
- 募金集約 2015年7月末